

令和2年度 東村山市立東村山第五中学校 学校評価報告書

学校教育目標

磨きあうところ 鍛えあうからだ 高めあう学力 助けあうなかま

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 生徒が安心して生活し、自らの可能性を伸ばすことのできる学校
- 【目指す児童・生徒像】 将来の幸せの基盤を築くことのできる生徒
- 【目指す教師像】 生徒や保護者、職員から信頼される教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

成果・・・①特別支援教育の推進 ②生徒による自主自律に基づく活動の促進
 課題・・・①主体的に活動できる生徒集団の育成、発展 ②主体的な学びの推進 ③不登校生徒への組織的な取組

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第2回評価		課題と次年度以降の対策
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標	
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした授業づくりを行い、話し合い活動を推進する。 ・生徒一人一人のつまづきに適切に対応する。 	4	4	授業のユニバーサルデザイン化を徹底し、興味もてる授業を実施することで、学力の向上に努める。	4	4	授業の始まりにねらいを明確にして、その時間の目標を全授業で明確にする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の研究を通して、集団の力を育み個々の自己肯定感を高める学級活動を実践する。 	3	3	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、話し合い活動を活発にして、自分の考えを他へ伝えるとともに小集団での意見のまとめを行う。	3	3	ホワイトボードを全クラスで活用することで、話し合い活動を活発にし、小集団での意見をまとめて発表できるようにする。
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・他の意見や考えを尊重し、「考える道徳」授業を全校で実践する。 	4	4	様々な考え方から、心の葛藤がある授業を目指すとともに、評価方法について研究を深める。	4	4	道徳の授業の中で、議論しながら様々な考えを引き出し、心の葛藤がある授業を目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣がきちんと身に付くよう指導の徹底を図る。 ・生徒の主体的な活躍の場、活動の場を創る工夫をする。 	3	3	諸行事や生徒会活動など様々な活動の場を利用し、いじめ防止・自殺予防の活動を行う。	3	3	「健康観察の記録」を徹底させて、健康観察するとともに基本的生活習慣が確立されるよう指導を継続させていく。
健康・体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはん ・保護者への啓発 ・校長講話 	4	4	「早寝・早起き・朝ごはん」を通し、保護者の基本的生活習慣の啓発活動を行う。	4	4	保護者会や生徒・保護者対象の講演会などで健全育成啓発ができず、書面での啓発が多くなった。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら取り組んでいく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康についての情報発信 ・保健便りにもとづく指導 ・セーフティ教室の実施 	4	4	保健便りを用いて健康についての情報発信をする。Docomoより講師を招きセーフティ教室の実施をする。	4	4	保健だよりを定期的に発行し、健康な心と体づくりを推進する。
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりとメール配信、ホームページの充実 ・地域行事への参加 	4	4	毎月の学校だよりによる学校情報の配信と一斉メール配信を充実させ、地域・保護者への学校情報の配信を充実させる。	4	4	毎月の学校だよりと一斉メール配信、学校ホームページの充実を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を通しての相互理解 ・保護者、地域の人材活用 ・避難所開設に向けての取組 	3	3	避難所の開設に向け連絡会を行う。	3	3	職場体験を通しての地域との連携及び相互理解を図る。
特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動による自立的な取り組み ・経営支援部による教育環境の整備・充実 	3	3	生徒会によるボランティア活動などの取組を行う。経営支援部による教育環境の充実をより一層図る。	3	3	生徒会サミットを、本校にてオンラインにて実施することができた。今後もこのような取組をさらに継続させていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」、「学級力アンケート」を活用して、学級活動を軸とした指導から集団の力を育む 	4	4	様々な教育活動を通して、スピーチによる報告・模造紙による報告等発表の方法を工夫する。	4	4	小学校から高校までの系統的なキャリア指導に生かしていくために、「キャリア・パスポート」の効果的な活用方法を検討する。